

県立高校の旬な情報を毎月お届けします。マナーアップ通信、部活動やボランティア活動などの各学校の特色ある取組、学校紹介、コラム、お知らせなど各高校の魅力的な取組の情報が満載です。中学生の皆さんの進路選択にぜひご活用ください。

9月号の目次

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| 1 マナーアップ通信 | (8) 東松島高校 | 4 コラム |
| (1) 南郷高校 | | (1) 涌谷高校 |
| | 3 学校紹介 | (2) 志津川高校 |
| 2 特色ある取組 | (1) 白石工業高校 | |
| (1) 柴田高校 | (2) 名取高校 | 5 お知らせ |
| (2) 宮城第一高校 | (3) 宮城野高校 | (1) 蔵王高校 |
| (3) 黒川高校 | (4) 利府高校 | (2) 村田高校 |
| (4) 加美農業高校 | (5) 古川高校 | (3) 柴田農林高校 |
| (5) 登米総合産業高校 | (6) 築館高校 | (4) 仙台第三高校 |
| (6) 迫桜高校 | (7) 石巻北高校 | |
| (7) 岩ヶ崎高校 | (8) 本吉響高校 | |

1 マナーアップ通信

(1) 南郷高校 <マナー向上の取組>

南郷高校では、生活全般にわたりマナーアップを図るため、次のような活動や行事を行っています。

○挨拶運動の実施

毎月、校門・昇降口において生徒会役員・代議員・生活委員・教員による全校生徒への声掛け運動を実施しています。学校全体で挨拶やマナーの意識の向上を図っています。

○インターネット安全利用教室の実施

年に一度、外部から講師を招いて、インターネットやスマートフォン・携帯電話の安全な使い方やモラル・マナーの向上を図るために、インターネット安全利用教室を実施しています。

○交通講話やバイク実技講習会の実施

年に一度、遠田警察署から講師を招いて、主に自転車安全利用についての交通講話を実施しています。また、近隣の自動車学校に依頼し、原付バイク免許取得者対象に車両の点検と正しい乗り方についてバイク実技講習会を実施しています。これらの行事を通して、交通ルールの遵守やマナー向上を図っています。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://nango-h.myswan.ed.jp/>

2 特色ある取組

(1) 柴田高校 <北信越インターハイ出場>

8月に行われたインターハイに、ウエイトリフティング部、陸上競技部、柔道部から8名が出場しました。ウエイトリフティングでは、体育科の3年生が96kg級で3位に入賞し、大舞台でメダルを獲得するという快挙を成し遂げました。他にも、普通科の3年生が入賞を果たしました。陸上競技においては、円盤投げとハンマー投げに、柔道部からは女子52kg級に生徒が出場しましたが、悔しさの残る結果となりました。このような貴重な経験を、今後の人生に生かして欲しいと願っています。

柴田高校で活躍しているのは、体育科の生徒だけではなく、普通科の生徒も部活動で素晴らしい活躍を見せてくれています。進路に悩んでいる方は、ぜひ10月30日(土)に行う第3回オープンキャンパス(学校説明会)にお越しください。

皆さんも柴田高校で夢を実現してみませんか。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://sibata.myswan.ed.jp/>

(2) 宮城第一高校 <つくば宿泊研修>

文部科学省による「県立学校における原子力・エネルギーに関する教育支援事業」を活用し、夏季休業中に専門家による講義受講・施設見学を行う「つくば宿泊研修」を実施しています。今年は8月2日(月)から4日(水)に以下のような内容で行われました。

◎那珂核融合研究所

…「核融合エネルギー」などについて

◎物質・材料研究機構

…エネルギー利用効率の向上など、素材面のアプローチについて

◎産業技術総合研究所地質標本館およびサイエンス・スクエアつくば

…最新の地球科学とともに日本の地質、地下・海洋資源、地球環境などの研究成果について

◎中央農業総合研究センター・食と農の科学館

…再生可能エネルギーの一つであるバイオマス資源エネルギーの技術開発について

◎高エネルギー加速器研究機構

…加速器の仕組みや、放射線がどのように利用されているかについて

◎筑波大学

…鈴木石根先生による講義「藻類バイオマス・エネルギーについて」

各施設では最先端の研究内容を丁寧に教えていただきました。参加できた生徒は熱心に記録をとりながら質問を積極的に行い、とても充実した内容となりました。

本校に入学を希望される中学生の皆さんも、ぜひ「つくば宿泊研修」を経験してみませんか？



< 学校のホームページはこちらです >

<https://miyaichi.myswan.ed.jp/>

(3) 黒川高校 <ものづくりコンテスト測量部門東北大会出場！>

黒川高校の「環境技術科」は、建設現場で必要な知識・技術・技能を学び、環境問題に取り組み、循環型社会の進展に貢献できる環境に優しい技術者を育成しています。

7月22日（木）には「高校生ものづくりコンテスト2021測量部門」の宮城県大会が本校を会場にして行われました。本校からは選抜された3年生4名が出場し、高精度の測量器械器具を用いての正確な観測や得られたデータをもとにした精密な計算などの測量の技術を競いました。黒高チームはチームワークよく練習の成果を十分に発揮し、見事に県第1位となり東北大会の出場が決まりました。

東北大会は8月21日（土）に秋田県で行われ、本校は惜しくも全国大会出場権を逃したものの、宮城県の代表として他県代表の生徒と堂々と競い合いました。後輩にはぜひ全国大会出場を果たしてほしいと思います。ものづくりや測量技術に興味があり、環境について深く学びたいと思う中学生の皆さんは、ぜひ黒川高校環境技術科への進学を考えてみてください！



< 学校のホームページはこちらです >

<https://kurokawa.myswan.ed.jp/>

(4) 加美農業高校 <家庭クラブ員になろう>

家庭クラブとは、全国の家庭科を学ぶ高校生によって組織された団体です。「創造・勤労・愛情・奉仕」の4つの精神を活動の柱として、研究活動、ボランティア活動、交流活動を行っています。

本校の家庭クラブでは、地域の小学生や福祉施設の高齢者との交流、植栽ボランティアなどたくさんの交流をしています。さらに、交通安全運動では、カエルのマスコットを製作し、地域の方と一緒に配布をしました。皆さんも本校生活技術科ならではの家庭クラブ活動に励んでみませんか。



学校のウェブサイトでは家庭クラブの様子を公開しています。是非御覧下さい。

< 学校のホームページはこちらです >

<https://kamino-h.myswan.ed.jp/>

(5) 登米総合産業高校 <「産業基礎」「起業実践」>

学校設定科目「産業基礎（1学年）」では、企業見学・調査を通して、社会人として必要な資質や職業に対する考え方を学びます。また、自分が所属する学科以外の基本的な内容も学習し、産業に関する興味や関心を高めつつ、新たな発見への探究を行っています。

学校設定科目「起業実践（2学年）」では、所属する学科での学習を柱として、起業家精神（チャレンジ精神・創造性）や、起業家的資質・能力（コミュニケーション力・プレゼンテーション力）を身に付けることで、将来の就職や社会生活に役立つ力を身に付ける活動をしています。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、校外での活動が難しい状況にあります。しかし、外部講師による講演をオンラインで行ったり、資格取得に向けての講習会や課外を実施するなど可能な限り有意義な学びを目指して活動しています。

学校のホームページに学校紹介動画や特色ある教育活動について掲載していますので、ぜひ御覧ください。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://tomesou.myswan.ed.jp/>

(6) 迫桜高校 <写真部の活動>

本校写真部の2年工藤花奈さん、佐藤里奈さん、小野寺あゆみさんの3名が宮城県代表として第45回全国高等学校総合文化祭（紀の国わかやま総文2021）に出場しました。昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響から「WEB SOUBUN」という形になりましたが、今年度は2年ぶりに開催地での開催となりました。本校写真部が全国高等学校総合文化祭に出場するのは4年連続となり、昨年度の全国総文祭での奨励賞を超える成績を残せるよう、作品作りを行ってきました。そして見事、工藤花奈さんの「呼吸」が優秀賞を受賞することができました。

受賞した工藤花奈さんは、「昨年度の全国総文祭で入賞した先輩に刺激を受けながら努力してきたので、その作品が評価されたことが嬉しかったです。全国総文祭出場が決まってからも、コロナウイルスの感染者増加によって本当に開催できるのか、和歌山県に訪県することができるのか不安でした。その中で、実行委員会の方々が感染対策を十分行った上で開催してくださり、和歌山県に訪県し自然や文化などの魅力に触れ撮影することができました。そして、他県の高校生の作品を鑑賞することもでき、とても貴重な体験をすることができました。この経験を糧に、来年の第46回全国高等学校総合文化祭（とうきょう総文2022）出場を目指して頑張っていきたいです。」と語っていました。

今後も文化祭や写真展を通し、作品の公開をしていきます。また、未来の迫桜高校写真部への入部をお待ちしています。



工藤 花奈 「呼吸」

< 学校のホームページはこちらです >

<https://hakuou.myswan.ed.jp/>

(7) 岩ヶ崎高校

〈栗原市役所岩高支所・栗っこティーチャー・C-PLAN・ 金融経済教育講座・栗駒六日町商店街シャッターアート〉

地域の皆様の御協力のもと、岩ヶ崎高校で実施している様々な取組を御紹介します。

1. 栗原市役所岩高支所（本校1・2年生）

地域の課題についてフィールドワークを交えながら調べ、案の妥当性を協議し、解決案を発表します。地域を活性化させるには、よりよい社会にしていくには等、様々な角度から考えることができる活動です。

2. 栗っこティーチャー（本校1・2年生）

地域の各小学校のサマースクールで、本校生徒が学習のサポートをする活動です。模範となる行動をすることは勿論、広い視野を持つことの大切さ、自身が今後学ぶべきことへの気付き等、様々なことを学ぶことができます。今年度は中止となりました。

3. C-PLAN（小学校への高校生教育助手派遣プログラム・本校3年生）

地域の各小学校で、教員等を目指す本校生徒が授業補助に入る活動です。掃除、集会活動、放課後活動等を通して小学生とふれ合うことで、将来の夢に向け学ぶべきことに気付き、決意を新たにすることができます。

4. 金融経済教育講座（1学年）

東北財務局の御指導のもと、高校生が地元の小学生に向けて、お金について出前講座を行っています。資料や説明方法を工夫して、小学生の皆さんが楽しみながら勉強できるよう、丁寧に準備をしています。

5. 栗駒六日町商店街シャッターアート

本校美術部が、地元の商店街のシャッターアートを作成しています。地域おこし協力隊の皆さんの企画によるもので、商店街の御意見を参考に、街並みに合う色を日本の伝統色の中から選定しました。完成後は、商店街を歩くと栗駒の四季を感じられるような企画となっています。



金融経済教育講座 プレゼン練習の様子



栗駒六日町商店街シャッターアート
作成の様子

〈学校のホームページはこちらです〉

<https://iwagasakikou.myswan.ed.jp/>

(8) 東松島高校 <自己表現力を磨こう♪～演劇特別授業～>

本校では毎年、『演劇特別授業』を夏休み期間中に開講しています。受講する生徒はプロの劇団の方に指導していただき、演劇を通して自己表現力を磨いていきます。

今年度も東京演劇アンサンブルの劇団員5名を講師に迎え、7月26日(月)から29日(木)の期間に行う予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染症にともなう緊急事態宣言の影響を鑑みて、残念ながら今年度は実施見送りとなりました。

例年、授業最終日には公演が行われ、保護者、地域の方々、卒業生など多くの皆様に御来場いただき、生徒一人ひとりの個性あふれる演技を御覧いただいています。

周囲の生徒からの支えや講師、先生方からの励ましを得て、日々成長していく生徒の姿が毎年見られる『演劇特別授業』。来年こそは一層充実した4日間になるよう願っています。



—昨年度の授業風景

< 学校のホームページはこちらです >

<https://higashi-matsushima.myswan.ed.jp/>

3 学校紹介

(1) 白石工業高校 <体育大会が行われました！>

私たちの学校は、機械科・電気科・建築科・工業化学科・設備工業科の5科を有しており、専門教科はもちろん、普通教科も学びながら日々それぞれの目標に向かって努力をしています。

そんな中、7月1日(木)と2日(金)に体育大会が行われました！感染症対策の面から昨年度の体育大会は中止となり、とても残念な思いをしました。今年度は接触の少ない競技への変更や、全クラス対抗だったものを学年ごとに開催するなど様々な工夫を凝らし開催することができました。競技種目は、バドミントン・バレーボール・ソフトボールの3つで、クラスごとにTシャツを作製し、それを着用して大会に臨みました。各種目で白熱した試合が繰り広げられ、皆の絆がより一層深まった大変良い二日間になったと思います。



白工ではもっとたくさんの、わくわくドキドキする行事や出来事が待っています。10月には文化祭(通称:白工祭)も開催予定です!白工の魅力がたくさん見られると思いますので、皆さんぜひお越しください!(※参加は事前申込制です)

< 学校のホームページはこちらです >

<https://shiroishi-kougyou.myswan.ed.jp/>

(2) 名取高校 <新体操部>

名取高校の新体操部は、8月21日(土)と22日(日)に新潟県で開催されたインターハイに出場しました。個人では、遠藤悠斗さん(2年)が個人総合で第6位入賞を果たし、3月の全国選抜の出場権利を獲得しました。団体は、5月に開催された全日本ユース・男子団体選手権大会で、念願の初優勝を果たしていたので、今年度のインターハイは優勝に懸ける思いが例年以上に強く、日々の練習にも熱が入っていました。しかし、インターハイ3週間前に選手の1人が練習中に腕を骨折してしまい、急遽選手変更をしてインターハイに臨むことになりました。選手変更に伴う演技の再構成にも時間がかかり、仕上げる期間が非常に短かったのですが、怪我をした選手を含めてチーム全員が一丸となって練習に取り組み、本番では今出来る最大限の演技を披露することができました。結果は、第11位でしたが、結果以上の成果を得られたインターハイでした。11月に開催される全日本新体操選手権大会にも出場するので、今回以上に質の高い演技を披露できるよう頑張っています。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://natori-h.myswan.ed.jp/>

(3) 宮城野高校 <生徒が企画・運営する文化的行事「文化祭」>

本校では、学校生活全般が生徒の自治を基本としています。その理念の下に行事等が生徒の力で企画・運営されており、その中でも、生徒企画文化的行事として実施されている文化祭は、1・2年次の有志約200名で結成されたボランティアが運営する本校の一大行事となっています。

今年7月に行われた文化祭は、感染症対策のため在校生のみの参加で行われました。しかし、サークルによるダンスパフォーマンス・演劇・ファッションショー・軽音楽ライブ等のステージ発表や、メイクアップや脱出ゲームといった体験型企画の実施、美術科生による作品の展示や総合学科生による探究活動発表など、生徒一人ひとりが輝きました。特に、今年度は各ホームルームが発表を行うという企画が行われ、同じ学校に通う仲間を楽しませるために多くの生徒が知恵を出し合い、文化祭を盛り上げました。

「宮城野…ここでは一人ひとりが輝きます」という本校のキャッチフレーズを体現する生徒企画行事。皆さんも本校の行事で企画を考え、他者を幸せにする創造的な活動をしてみませんか。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://miyagino.myswan.ed.jp/>

（４）利府高校 <質の高い文武両道を目指して>



宮城県利府高等学校

本校は、「さわやか 利府高」を合言葉に、いつも笑顔があふれ、元気なあいさつが飛び交う活気に満ちた学校です。質の高い文武両道を目指し、日々諸活動に励んでいます。

《普通科》

必修科目の他に多くの選択科目が開設されており、じっくりと学習に取り組める教育課程となっています。週末課題や各種課外講習などを通して「自立する学習者」を目指し、個々の目標達成をサポートしています。また、部活動では、スポーツ科学科の生徒と共に全国の舞台で活躍しています。



《スポーツ科学科》

スポーツを科学的に分析し、高度な技能の習得による競技力向上や生涯スポーツに必要な基礎知識を学ぶだけでなく、「スポーツ経験を社会で活かせる人間の育成」を目指し、専門的な教育活動を展開しています。また、外部講師による授業では、より専門性の高いスポーツの最先端について学ぶことができます。

《部活動》

利府高校は部活動が大変盛んな学校で、運動部・文化部ともに素晴らしい成績を残しています。引き続き新型コロナウイルス感染症のため制限が多い中でも、各種大会において上位入賞を果たすなど、大いに活躍しているところです。これからも各種大会・選手権・コンクールなどへの参加が予定されています。利府高校生のますますの活躍に御注目ください。

さらに、本校では部活動が大好きな中学生を対象に『部活動支援プロジェクト』と称し、講習会や合同練習会を開催しています。県内の中学生の皆さん、利府高校生と一緒に活動してみませんか？詳しくは本校HPを御覧ください。

< 学校のホームページはこちらです >

<https://rifu-h.myswan.ed.jp/>

(5) 古川高校 <「古高の祭り」>

昨年度、コロナ禍の中で大幅に縮小されてしまった古高祭。今年度は少しずつ状況も改善されてきたという判断から、例年どおり2日間の開催に漕ぎ着けることができました。もちろん、様々な感染症対策を講じながらではありますが…。例年とは全く異なる新しい古高祭を、実行委員会が一丸となって作り上げました。

今年度の古高祭では、一般公開を一切行わなかった昨年度とは異なり、3年生の保護者と近隣の小学5・6年生を迎えての開催となりました。しかし、調理を伴う模擬店は昨年同様禁止し、ステージ発表時のリモートによる分散見学など、昨年度の経験を活かしたwithコロナの工夫もなされました。今年度

は新たに、全校生徒によるモザイクアートの制作、クラスのロッカー装飾、さらには古高祭オリジナルグッズの販売などの新たな企画を実施し、ステージ発表においても「古高の本領」と題して、より多くの生徒が参加体験できる企画を前面に打ち出しました。そして、近隣の小学生にも楽しんでもらえるような子供向け企画と、多方面に欲張った古高祭となりました。ステージ発表等の企画においては、その都度入場チケットを配布し、入場できる人数の制限を行いました。ときにはチケットを求めて行列ができることもありましたが、実行委員が臨機応変に対応して「密」な状態にならないように呼びかけるなど、実行委員は当日まで大忙しでしたが、この閉塞感の漂う日々の状況をもひっくり返すかのような充実感に包まれた古高祭となりました。

8月末に予定されていた体育祭は、まん延防止等重点措置の発令のため9月末へと延期が決定しています。8月末現在では、①通常どおり2日間での開催、②1日に短縮しての開催、③中止、という3パターンを考えているところです。昨年度より、コロナ禍の状況にも負けずにさまざまな行事を開催させてきた古高。なんとか開催できる方法を模索して、三重大行事の締めくくりとしたいと思います。ちなみに昨年度の古高祭&体育祭の短縮開催における「花火」のサプライズですが、今年度は古高祭の売り上げが予想より伸びなかったため、実現できなさそうです…。

コロナ禍でも今年度の古高は、県総体や上部大会において活躍することができました。

ソフトボール部は県で優勝し、7年ぶりの福井インターハイ出場を果たしました。陸上競技部は女子棒高跳びと男子砲丸投げが東北大会出場という結果を残しました。水泳部も100m自由形で東北大会出場を果たしています。また、東北大会は中止となってしまったものの剣道部が男子団体で3位に入賞、女子個人でも3位に入賞するなど、大いに活躍しました。現在は、各運動部が地区新人大会、県新人大会の開催を信じ、日々活動に励んでいるところです。

文化部も健闘していて、全国総合文化祭には、県将棋選手権で準優勝を果たした囲碁将棋部が参加しています。



古高祭 全校制作モザイクアート
(令和3年度)

< 学校のホームページはこちらです >

<https://furuko.myswan.ed.jp/>

(6) 築館高校 <3年後、なりたい自分がそこにいる>

築館高校は、<3年後、なりたい自分がそこにいる>のキャッチフレーズのもと、生徒一人ひとりがなりたい自分を目指して、様々なことにチャレンジできる高校です。日々の学習はもちろん、部活動、学校行事、ボランティア活動や人のためプロジェクトなど、「築高だからこそ」できることが数多くあります。

学校行事で特筆すべきは、旧築高時代から続く臙紫定期戦（対古高定期戦）や長谷川杯争奪弁論大会、旧築女高時代から続く合唱コンクールです。今年度の定期戦は部活動ごとの分散開催となりましたが、見事総合優勝を果たしました。また、ここ数年、本校弁論大会の上位入賞者は県弁論大会でも高い評価を得ており、さらに今年度は全国総合文化祭弁論部門において見事優良賞を獲得しました。

築館高校といえば、その活発なボランティア活動が有名です。現在は新型コロナウイルス感染症流行のため活動の制限はありますが、地域に貢献することを第一の目標とし、地域の小学生の学習補助を行うサマースクールボランティアなどを行っています。また、人のためプロジェクトの一環として全国防災ジュニアリーダー育成合宿で運営スタッフを担ったり、花山で行われた地域探究プログラムオリエンテーション合宿に参加したりと、学校内にとどまらず、社会全体を学びの場とし、生き生きと活動しています。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://tukiko.myswan.ed.jp/>

(7) 石巻北高校 <部活動の取組について>

運動部は、各種上位大会進出を目指し、日々練習に取り組んでいます。今年度は剣道部男子が地区総体団体優勝、県総体団体3位に輝きました！

男子ソフトテニス部が地区総体や仙北新人大会で優勝し、女子卓球部は地区総体で団体優勝、県総体でベスト8！他にも男子卓球部や陸上競技部、男子バスケットボール部など様々な部活が県総体に出場し活躍しました。硬式野球部は5年ぶりに単独出場することができました。

文化部では、吹奏楽部が全日本吹奏楽コンクール地区銀賞、過去に東北大会にも出場したことがある演劇部は秋の大会に向けて頑張っています。生徒会はYouTube甲子園に出場するなどクリエイティブな活動で学校を盛り上げています。

『人の数だけ道がある』

皆さんも石巻北高校に来て、部活動で汗を流してみませんか。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://ishikita.myswan.ed.jp/>

（８）本吉響高校 < 気仙沼・本吉地区唯一の総合学科 >

【本吉響高校とは】

昭和21年津谷農林学校として創立された、70有余年の歴史を誇る伝統校です。昭和23年の学制改革により宮城県津谷農林高等学校、昭和48年に宮城県津谷高等学校、平成11年に「総合学科」改編と同時に宮城県本吉響高等学校と校名を改めました。



【本吉響高校の総合学科とは】

本吉響高校には4つ（進学教養、産業情報、生活表現、人間環境）の系列があります。

これらの系列には、多様な進路希望に対応し、生徒一人ひとりの個性を伸ばすための科目が含まれています。入学後に主に学習する系列を1つ選び、さらにその中から自分の進路希望を考慮した上で科目を選択します。

各系列の中には、他の学校には無い本吉響高校独自の学校設定科目が用意され、実験や実習なども行われています。



ぜひ、皆さんも一緒に学びませんか。

< 学校のホームページはこちらです >

<https://hibiki-h.myswan.ed.jp/>

4 コラム

（１）涌谷高校 < 夏休みの成果と特訓 >

< 全国高総文祭和歌山大会に美術部が県代表として参加しました！ >

8月に開催された第45回全国高等学校総合文化祭美術・工芸部門に県代表として3年生の高橋跳人さんが参加しました。作品は身近な文房具を利用して制作したSL模型です。コロナ禍で制約された大会となりましたが、他県の生徒との交流を深めてきました。



< 3年生が夏休みに進路に向けた活動をしました！ >

8月2日（月）と18日（水）に総合的な探究の時間として、進学希望者は起業家教育の活動を行い、就職希望者は外部講師による面接練習を行いました。特に就職希望者は間もなく始まる就職活動に向けて真剣に取り組む様子が見られました。



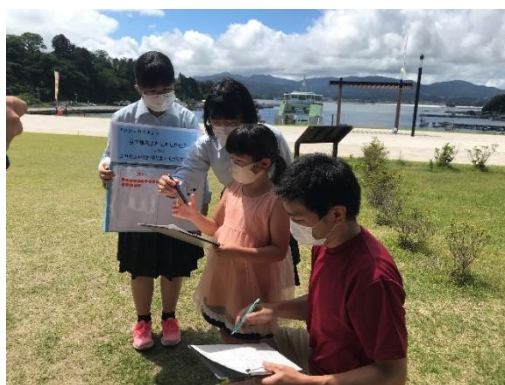
< 学校のホームページはこちらです >

<https://wakuya-h.myswan.ed.jp/>

(2) 志津川高校

＜「おかえりモネ」の経済効果を調査してみました！＞

みなさんはNHKで放送中の朝ドラ「おかえりモネ」、見てますか？モネちゃん、口数は少ないですが、ピンチにも負けない心の強さがステキです。物語の舞台となった登米市や気仙沼市には、「モネ効果」で多くの観光客が来てるのでは？と気になった志津川高校商業部、いざ調査へ！登米市は市役所、長沼公園、もくもくランド、地元の酒屋さんを訪問。気仙沼市大島ウェルカムターミナルに加え、地元南三陸町でも観光客のみなさんへアンケート調査を敢行。番組に登場した特産品や「モネちゃんにちなんだ新商品大ヒット中だよ！」と語る地域の方々の声をたくさん聞くことができ、コロナ禍の状況でも「ドラマの舞台になること」は地元の人たちの活力となり大きな経済効果が生まれるのだ！ということを感じて実感できました。私たち志津川高校商業部員も、口数はほどほどに、でも前を向いて毎日頑張っていれば、モネちゃんのように、きっとステキな大人になれるかモネ！？



＜ 学校のホームページはこちらです ＞

<https://sizugawa-hs.myswan.ed.jp/>

5 お知らせ

(1) 蔵王高校 ＜蔵王高校 文化祭を開催します＞

10月30日(土)午前9時20分から午前11時50分に蔵王高校文化祭を開催します。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響があり、公開は事前申請制とし、申請者限定公開で行います。「Be Together as One ～心を一つにして最高の文化祭を～」というテーマのもと、生徒一人ひとりが活躍し、輝ける文化祭を目指します。今年度は屋台等の出店はせず、新型コロナウイルスの感染対策を行いながら、文化部による展示や、音楽部・有志団体によるステージ発表、1年生のトーンチャイム演奏等、工夫を凝らした内容になっています。

昨年に続きコロナ禍での文化祭ですが、生徒が一所懸命アイデアを出し、輝けるものが出来上がります。本校生の頑張っている姿を通して、少しでも皆様に勇気や元気を届けられればと思っています。



※写真は昨年度文化祭のものです

＜ 学校のホームページはこちらです ＞

<https://zao-h.myswan.ed.jp/>

(2) 村田高校

<令和3年度 村高祭『Flower』>

～咲かせようたくさんの笑顔と思い出を～>

【村田高校は、主体的に考えて行動できる力を持ち、自らの夢や希望の実現を図れる生徒を育成しています】
村田高校の今年の文化祭『村高祭』のテーマが『Flower』と決まりました。

しかし、現在新型コロナウイルス感染症の流行が更に激しくなっている状況なので、昨年度と同様に一般公開は行わず、内容や規模を縮小して在校生の家族のみ来校可とする方向で検討しています。

2年続けて多くの皆様をお迎えすることができず、残念極まりないのですが、限られた範囲の中で工夫しながら、村高生の文化活動を表現する展示・発表・販売等を行っていきたいと考えています。

『村高祭』校内発表

日程 10月23日(土) 午前9時30分から午後1時15分まで

在校生の家族のみ来校可とします。(※検温等のご協力をいただきます。)

昨年の「村高祭」(校内発表のみ)から



< 学校のホームページはこちらです >

<https://murata-h.myswan.ed.jp/>

(3) 柴田農林高校 <柴農にってみよう！学校説明会>

10月2日(土)に学校説明会を開催します。学校説明会は、中学校3年生の皆さんやその保護者の方々を主な対象として行います。今回の学校説明会は農場案内、柴農の全体説明に加え学科ごとの個別相談もあります。柴農の学科について詳しく知りたい！どんなことを勉強するの？受験勉強はどんなことをしたらいいの？高校を卒業したらどんな進路があるの？などなど皆さんの疑問・質問にお答えしていきます。合同説明会や体験入学に参加し、もっと柴農について知りたいという方はもちろん、参加できなかった皆さんもこの機会にぜひ参加してください。学校説明会は事前申込制となります。詳しくは、学校ホームページを御覧ください。



※ 新型コロナウイルス感染拡大により、中止する場合もございますので、予め御了承ください。

< 学校のホームページはこちらです >

<https://sibano.myswan.ed.jp/>

(4) 仙台第三高校

<SSH中間報告会・授業づくりプロジェクトフォーラム・三高SSH×東北大学GLCの取組について>

本校では、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校として「SSH中間報告会・授業づくりプロジェクトフォーラム」を行っています。SSH事業は今年度が第2期目の最終年度となります。また本校ではSSH事業と連携して授業づくり研究センターが中心となり、全職員でICTを活用した授業、探究活動・PBL・評価法の研究やその実践的教育プログラムの開発に力を入れています。

今年度のフォーラムは12月16日(木)に本校を会場として、これまで実践してきた成果を報告いたします。現時点で京都大学高等教育研究開発推進センター教授の松下佳代氏をお迎えし、御講演を行っていただく予定です。今後HP等を通じて申込の受付いたします。

また、毎年東北大学グローバルラーニングセンターの留学生の方々に、理数科の課題研究を英語で発表するためのサポートをしていただいております。今年度は9月からZoomテレビ会議システムによる7回のセッションを行います。1月にはマレーシアのマラヤ工科大学の学生対象に、Zoomによる課題研究の口頭発表を行う予定です。

仙台三高はこれからも教員と生徒が共に研鑽を積みながら学校を作り上げます。



※昨年度の様子

< 学校のホームページはこちらです >

<https://sensan.myswan.ed.jp/>